

花粉症に関するセミナーを開催

エステー

エステーは1月16日、「香り成分が花粉アレルギー性を低下!凶悪花粉に効くトドマツパワーの秘密」と題したメディア向けセミナーを開催した。

その新事業として森の研究成果を暮らしに生かすヘルスケア製品ブランド「MoriLabo」を立ち上げ、昨年12月より、スティックタイプの「花粉対策製品「MoriLabo 花粉バリアスティック」(店頭実勢価格4g1058円(税込))を発売している。

今回のセミナーでは、埼玉大学大学院理工学研究soの王青躍教授が「凶悪化する花粉症の原因物質による花粉症への脅威」と題した講演を行った後、エステーグループ基礎研究機関の日本かおり研究所の金子俊彦社長が「新たに科学的に解明された花粉アレルギー性を低下するトドマツの香り成分の力」をテーマに講演を行った。



左から奥平氏、王教授、金子氏

王教授は、都市部を中心に凶悪化している花粉アレルギーの仕組みについて、花粉症の原因は、花粉そのものではなく、花粉に含まれるアレルゲンだ。大気汚染物質と花粉が結びつきやすい都市部では、花粉が爆発を起すことで、アレルゲンの毒性低減に有用であることが一因となっている。今回のリニューアルでは、『CXCR4』の活性抑制に有用なプルチネンを含むサクラ葉エキスを加え、できたシミを薄くすることが期待される『アクティブビタミンCα』を含むムラサキシキブ果実エキスを新たに配合している」と説明した。



「凶悪化する花粉症の原因物質による花粉症への脅威」と題した講演を行った後、エステーグループ基礎研究機関の日本かおり研究所の金子俊彦社長が「新たに科学的に解明された花粉アレルギー性を低下するトドマツの香り成分の力」をテーマに講演を行った。

金子社長は、「当社は、空気清浄作用が高い北海道トドマツに着目し、その精油を活用した事業を進めている。今回発売されたトドマツの精油を活用した『MoriLabo 花粉バリアスティック』は、帯電した微粒子によって花粉を防止する従来製品と異なる新しい製品になっている」と説明した。

最後に、事業統括部門ビジネス開発本部クリアフォレスト担当奥平壮臨氏が、新ブランド「MoriLabo」について説明した。

奥平氏は、「クリアフォレスト事業は現在、これまで『製品ブランド』から、原料販売と自社製品ブランドを展開する『成分・技術ブランド』へと再定義し、事業を進めている。今回の新ブランドでは、マスクによる花粉症対策に満足していない層をターゲットに販売していく。今回の発売をきっかけに、森の研究成果を暮らしに活かしていくようなブランドに育成していきたい」と新ブランドに期待を込めた。

新製品発表会を開催

ランクアップ

スキンケアブランド「マナラ化粧品」を扱うランクアップは1月11日、ブランドのデザインを無色化して予防する」とともに、表皮角化細胞の増加が期待される『ハス胚芽エキス』がメラニンの排出を促進し、肌を改善する」と述べた。

取締役執行役員 総合研究所所長の炭田康史氏は、「口から食べる化粧品、肌に塗るサプリメント」という発想のもと、化粧品・健康食品の両分野の研究員たちが技術を結集させた新製品は、内外美容の研究成果として当社の自信作になっている。無添加化粧品の技術による肌の外側からのケアと、サプリメントによる内側からのケアの相乗効果がもたらす『内外美白』に是非ご期待いただきたい」と新製品への意気込みを語った。



今回の新製品では、当社が特許を取得した成分『ヒドロキシチロール』と『L-シスチン』の複合成分がシミのものを無色化して予防する」とともに、表皮角化細胞の増加が期待される『ハス胚芽エキス』がメラニンの排出を促進し、肌を改善する」と述べた。

ファンケルは1月24日、体の内外からの美白ケアを謳う化粧品「サプリメント」の新製品を披露すべく、都内で新製品発表会を開催した。

新製品発表会を開催

内外美容の相乗効果による美白ケアへ

ファンケル

ファンケルは1月24日、体の内外からの美白ケアを謳う化粧品「サプリメント」の新製品を披露すべく、都内で新製品発表会を開催した。

今回のリニューアルでは、『CXCR4』の活性抑制に有用なプルチネンを含むサクラ葉エキスを加え、できたシミを薄くすることが期待される『アクティブビタミンCα』を含むムラサキシキブ果実エキスを新たに配合している」と説明した。

サプリメントでは3月20日から、新製品の美白ドリンク「ホワイトフォードリンク」(10本入り3000円)と、リニューアルされた「ホワイトフォース」(30日分、180粒2000円)を発売する。

総合研究所 機能性表示食品研究所 サプリメント研究第1グループ課長の小野衣里日氏は、新製品のサプリメントについて、「美白力を高めるためには、シミをつくらない『予防』と、出来てしまったシミを排出する『改善』が必要になってくる。今回の新製品では、当社が特許を取得した成分『ヒドロキシチロール』と『L-シスチン』の複合成分がシミのものを無色化して予防する」とともに、表皮角化細胞の増加が期待される『ハス胚芽エキス』がメラニンの排出を促進し、肌を改善する」と述べた。

取締役執行役員 総合研究所所長の炭田康史氏は、「口から食べる化粧品、肌に塗るサプリメント」という発想のもと、化粧品・健康食品の両分野の研究員たちが技術を結集させた新製品は、内外美容の研究成果として当社の自信作になっている。無添加化粧品の技術による肌の外側からのケアと、サプリメントによる内側からのケアの相乗効果がもたらす『内外美白』に是非ご期待いただきたい」と新製品への意気込みを語った。



ファンケルは1月24日、体の内外からの美白ケアを謳う化粧品「サプリメント」の新製品を披露すべく、都内で新製品発表会を開催した。

今回のリニューアルでは、『CXCR4』の活性抑制に有用なプルチネンを含むサクラ葉エキスを加え、できたシミを薄くすることが期待される『アクティブビタミンCα』を含むムラサキシキブ果実エキスを新たに配合している」と説明した。

サプリメントでは3月20日から、新製品の美白ドリンク「ホワイトフォードリンク」(10本入り3000円)と、リニューアルされた「ホワイトフォース」(30日分、180粒2000円)を発売する。

総合研究所 機能性表示食品研究所 サプリメント研究第1グループ課長の小野衣里日氏は、新製品のサプリメントについて、「美白力を高めるためには、シミをつくらない『予防』と、出来てしまったシミを排出する『改善』が必要になってくる。今回の新製品では、当社が特許を取得した成分『ヒドロキシチロール』と『L-シスチン』の複合成分がシミのものを無色化して予防する」とともに、表皮角化細胞の増加が期待される『ハス胚芽エキス』がメラニンの排出を促進し、肌を改善する」と述べた。